

## ルナティック

この記事は、米ボウリング雑誌『Bowling This Month』の許可を得て、翻訳・掲載しております。本記事の著作権は発行元の Joshua Sports & Entertainment, Inc.に帰属し、許可なく転載・複写・転送等することは禁止されております。

This translation of article is provided by DAIFUKU QubicaAMF under the permission of Joshua Sports & Entertainment, Inc.. Copying/Duplicating/Modifying of this article without the permission by Joshua Sports & Entertainment, Inc. is prohibited.

### ⇒ ボウリング ティスマンス 2009年7月号掲載

ルナティックは 900 グローバルのミッドプライス価格帯における最新作です。S53 カバーストックはマニアックのものよりも若干強めになっています。ルナティックはマニアックに比べ、高めに設定されたRGとポリッシュされた表面を活かして手前はクリーンに走ります。マニアックはレーン全体にかけて大きく強く動いていましたが、ルナティックの場合は、このコア&カバーコンビネーションによりミッドレーンで強力に動きます。テスター全3名はミディアムパターンが適していると感じたようです。ミッドレーンでの強さがあるので、どのボウラーでも少しのスイングで安定した動きが得られたようです。バックエンドでの力強いロールがあるので、コーナーまわりも問題なし。唯一、苦勞したのは、インサイドへ深く入らなければならなかった時です。しかし自分が快適なエリアからインサイドへ移動しなければならなくなったときは、ボールを変えるタイミングとを考えてください。〈スポーツパターン〉いつもだったら、次に良い結果が出るのはオイリーかドライパターンなのですが、今回のルナティックは違いました。今回、我々のスポーツパターンが2番目に適したパターンになりました。スポーツコンディションの中程度のオイル量はルナティックに合っていました。〈ヘビー〉オイリーの場合、オイルがフレッシュな状態ではやや苦勞しました。オイルの量よりもオイルの長さが問題だったようです。オイリーパターンでも、我々のものより外側が短いパターンであれば、ルナティックでも対応可能だと思います。〈ドライパターン〉クランカーやトウィーナーのようにインサイドに入れないう分、ストローカーはどのパターンでも投げづらかったようです。クランカーとトウィーナーは、簡単にポケットを見つけることができましたが、バックエンドに入る前にエネルギーを消費してしまい、良いリアクションが得られませんでした。もっとPIN-PAPを長めにとったレイアウトにすれば、バックエンドまでのエネルギーを温存できるので、このドライパターンでもルナティックには可能性がありそうです。

#### ＜パフォーマンスレーティング＞

パフォーマンスレーティングです。3つの違うタイプのボウラーが、4つのレーンコンディション上でテストして評価した結果です。

1-3 ボールのパフォーマンスが平均以下 4-6 平均的なパフォーマンス 7-9.5 エクセレント！

ボウラータイプ⇒ ↓コンディション	ストローカー	トウィーナー	クランカー
オイリー	6	6.5	7.5 Excellent!
ミディアム	9 Excellent!	9 Excellent!	9 Excellent!
ドライ	5	6	6
スポーツ	8 Excellent!	8.5 Excellent!	8 Excellent!

## ボールデータ

カバーストック	S53 ソリッドリアクティブ
コア	クレイジーコーン[対称]
カラー	ブラック/イエローオレンジ
表面仕上げ	ホリッシュ
慣性(RG)	2.55
フレアポテンシャル	△RG 0.045
コンディション	ミディアム
重さ	12-16 ポンド



☑ **強 さ** … ミッドレーンの強さが、我々がもっとも気に入った特長です。この強力な動きがバックエンドでも爽快な動きを提供します。

☑ **注意点** … ルナティックは強烈なウェット&ドライコンディションには不向きです。オイル量の多いエリアではカバーストックから十分な摩擦力を得られず、ドライエリアでは逆に強く反応しすぎてしまいます。

☑ **総 評** … ルナティックはミッドパフォーマンス帯のボールです。900 グローバルに欠けていたミッドレーンでの強さを補うものになるでしょう。ベンチマークボールとしても最適です。

### <ボウラータイプ>

	ストローカー	トゥーナ	クランカー
Axis angle	75°	55°	70°
Axis point	4.875over/1.25up	5.25over/0up	5.25over/.25down
RMP (回転数)	225	320	450
MPH (10 フィート投球速度)	16.4mph 26.3Km/h	17.8mph 28.6 Km/h	19.0mph 30.5 Km/h

### <今回のテストレーンコンディション> BW Pro Anvil Lane/ Kegel pattern

	オイル長	中心のオイルの厚み
<i>OILY</i>	44 フィート	ハイストリート
<i>MEDIUM</i>	41 フィート	メインストリート
<i>DRY</i>	38 フィート	イーリーストリート
<i>SPORTS</i>	39 フィート	ワインディングロード